

平成26年度事業報告書

社会福祉法人 寿 恵 会

永年に渡り社会のために尽くされてきた高齢者の皆様が、津高寮において楽しく健やかに人生を過ごされることを目的として、法人理念に基づいて介護サービスのより一層の向上に努めてまいりました。

そして、26年度は以下の点を基本方針として掲げ、事業推進に努め、一定の成果を得るに至りましたのでご報告いたします。

〔I〕概要

(1) 職員資質の向上と人材の育成

- ・ハローワーク等主催の就職セミナーへの参加、派遣紹介会社と良好な関係を築き良質な人材の確保にあたる。
- ・経営理念及び経営方針の周知へ向けた取り組みを実施し、共通理解を徹底する。
- ・各専門職資格取得奨励と施設内勉強会・研修を継続的に実施する。
- ・外部勉強会・研修会等への積極的参加をする。
- ・サービスやマナーを向上し、介護の質を高める。
- ・各部門間の連携を強化する。

以上の点に取り組みました。

(2) 経営基盤の強化並びに安定経営の確立に取り組む

①サービス内容の見直し

事務管理部、特養介護部、医務部、ショートステイ部、デイサービス部、調理部、居宅介護支援事業所が各々の立場からご利用者様等に対する現在のサービス内容並びに業務内容等を見直し、質の高いサービス提供と業務改善に向け、各種マニュアルの整備・取組を行いました。

②環境整備の強化

- ・ご利用者様の津高寮での生活の快適性を確保するため、施設全体の環境整備に取り組みました。
- ・取り組みの遅れている建物、設備、什器備品等の補修、買い替え、新規購入について取り組みました。

③危機管理の取組を強化

各職員はご利用者様に関わる内容、職員に関わる内容、建物・備品等に関わる内容など、全てにおいて身体の状況、建物・備品等の故障破損等、日常との変化があれば、各部門の上司に必ず報告・連絡・相談を行い、その報告・連絡・相談を受けた各部門の責任者は必ず施設の長または上長まで伝え指示を仰ぐ事を徹底し、その指示を関係職員に指示し状況の改善に努めました。また、適切な措置を講じていけるよう多角的な検討を行い、施設全体として危機管理能力の向上を目指しました。

・防災対策の見直し

施設内外の危険個所の把握、点検、改善等の防災対策を見直し、徹底する。また、施設の防災設備が円滑に機能する様に点検、整備を常に励行し、災害等の被害が拡大しないように努めました。火災、地震等の災害が発生した場合、ご利用者様の安全確保に迅速に対応できる様、年2回（日中・夜間）想定防災訓練を実施しました。

・災害時の備蓄

災害時の物資や消耗品についての保管・備蓄について検討を行いました。

④ご利用者様及びご利用者様のご家族様との連携

ご利用者様及びご利用者様のご家族様との連携を強化するため、施設運営面、サービス内容等に関する意見、苦情等を収集し、今後の業務改善・見直しに役立てる活動をしました。

(3) 経営基盤の強化並びに安定経営の確立に取り組む

①経費節減の継続

経費削減を継続し、環境整備に極力資金を振り向けご利用者様の快適な寮生活の確保に積極的に取り組みました。

②在庫管理の強化

適正な在庫管理を行なうことで経費面での効率化を推進しました。各部門が管理すべき物品を明確にし、在庫管理方法の見直しを行い、より適正な在庫管理を推進することで経費の節減及び業務の効率化に結び付けるようにしました。

③事業所毎の高稼働率の確保

安定的な経営を確立するための大きな要素の一つは、質の高い介護サービスを提供することで高い稼働率を継続的に維持することにある。各部門は年間平均稼働率目標を設定し、その達成に最大限の取り組みを行いました。職員数の不足の影響もあり、目標の達成に至りませんでした。

(4) 地域福祉貢献活動の強化

社会福祉法人にあつては地域福祉に貢献することが強く求められている。

本年度もさらに地域に信頼される津高寮とすべく、地域との交流活動を推進するよう取り組みました。

〔Ⅱ〕施設の運営状況

1. 資格取得状況

平成 26 年度資格取得者		介護福祉士	1 名	介護支援専門員	0 名
平成 26 年度末現在での資格取得者					
社会福祉士	1 名	介護支援専門員	2 名	社会福祉主事	7 名
柔道整復師	0 名	管理栄養士	1 名	介護福祉士	20 名
正看護師	4 名	准看護師	3 名	衛生管理者	1 名
栄養士	2 名	調理師	1 名	介護実務者研修 (訪問介護 1 級)	0 名
介護初任者研修 (訪問介護 2 級)	13 名				

2. 各種会議・委員会開催状況

会議・委員会名	開催日	出席者
連絡会議	毎月10日	施設長・事務長・各部門長
特養会議	毎月第3火曜日	施設長・事務長・介護・看護・調理
ショート会議	不定期 毎月1回	施設長・ショート職員
デイサービス会議	毎月第3水曜日	施設長・デイサービス職員
衛生管理委員会	毎月10日	施設長・事務長・衛生管理者・介護・看護・
身体拘束廃止委員会	毎月第2金曜日	施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・機能訓練指導員・介護・看護・
事故防止委員会	毎月第3火曜日	施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・機能訓練指導員・介護・看護・調理
医療安全対策委員会	毎月第3火曜日	施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・介護・看護
褥瘡予防委員会	毎月第3金曜日	施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・機能訓練指導員・介護・看護・調理
感染症対策委員会	4月・7月・10～3月の第2火曜日	施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・介護・看護・調理
入所判定委員会	奇数月第3火曜日	施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・機能訓練指導員・介護・看護
給食委員会	偶数月第1火曜日	施設長・事務長・相談員・施設ケアマネ・管理栄養士・介護・看護・調理
夏祭り委員会	夏祭り前に数回	施設長・事務長・各部門から担当職員

※医療安全対策委員会は本年度をもって終了といたしました。

3. 各施設の利用状況等

◇特別養護老人ホーム

(1) 利用状況

利用者の要介護状態は、3月末時点での要介護3、4、5の比率が96.1%となり、要介護1、2の比率が3.9%となっている。平均要介護度は4.1と昨年度と同様に高い状態となっている。また、特別養護老人ホームの年間平均利用率は前年度93.9%に対し、本年度は92.4%となっており、前年比で1.5%下降しました。

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	年間平均 利用率
利用者数	0名	3名	17名	24名	33名	77名	92.4%
構成比	0.0%	3.9%	22.1%	31.2%	42.9%	100%	

(2) 年齢構成

利用者の年齢構成は90歳以上の利用者の比率は46.8%となっており、前年度に比べて0.7%上がっており、ゆっくりとですが高齢化が進んでいます。また、100歳以上の利用者は6名、構成比7.8%となっています、

	～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合計	内、100才以上
利用者数	1名	7名	32名	37名	77名	6名
構成比	1.3%	9.1%	41.6%	48.1%	100%	7.8%

(3) 入退所状況

退所者22名の内、18名の方が死亡、3名が長期入院、1名が他施設への移動となりました。また、退所後の空所を出来るだけなくすため、入所判定委員会を2か月に1度行い、担当職員が待機者及び次期入所予定者を把握し、空所時には入所日程の調整をスムーズに行えるよう取り組んで参りました。

	入所者数	退所者数	退所理由別人数		
			死亡	入院	その他
平成25年度	16名	19名	17名	2名	0名
平成26年度	23名	22名	18名	3名	1名

◇短期入所生活介護

短期入所生活介護事業の利用状況は、昨年度年間延べ利用者数5,725名、1日平均利用者数15.7名、年間平均利用率78.4%に対し、本年度は延べ利用者数5,019名、1日平均利用者数13.8名、平均利用率68.8%と前年度比利用者数で706名、1日平均利用者数で1.9名減少したことにより利用率は9.6%の減少となった。

	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	年間平均利用率
平成25年度	5,725名	15.7名	78.4%
平成26年度	5,019名	13.8名	68.8%

◇通所介護事業

通所介護事業の利用状況は、昨年度年間延べ利用者数5,269名、1日平均利用者数20.6名、年間平均利用率82.3%に対し、本年度は延べ利用者数4,874名、1日平均利用者数19.0名、平均利用率76.2%と前年度比利用者数で395名、1日平均利用者数で1.6名減少したことにより対前年比利用率に於いて、6.1%の減少となった。

	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	年間平均利用率
平成25年度	5,269名	20.6名	82.3%
平成26年度	4,874名	19.0名	76.2%

◇居宅介護支援事業

居宅介護支援事業のケアプラン計画件数は、前年度1ヶ月平均35.5件の計画件数に対し本年度は1ヶ月平均34.0件となり、前年度より1.5件減少となった。引き続き、利用者が在宅で自立した生活を営み継続出来る様に、要介護者の状態把握に努め、『利用者本位』『利用者自身の選択』を優先としたケアプラン作成が行えるように努めて参ります。また、同様に『保険・医療・福祉』サービスが総合的に受けられるように支援して参ります。

	月平均ケアプラン件数
平成25年度	35.5件
平成26年度	34.0件

4. 年間行事実施状況

行事は利用者の重度化を考慮しながら四季の行事を行い、各種サークルにおいては毎月お花、喫茶、書道など定期的に行い、利用者間の連帯感や意欲の助長に努めました。また外出の差し支えない利用者には買物、ドライブ、外食等のお手伝いを、気分転換を図るよう努めました。

	特別養護老人ホーム	短期入所生活介護	通所介護事業
4月	お花見	お花見	お花見
5月	母の日・端午の節句・菖蒲湯	母の日	
6月	父の日	父の日	
7月	七夕	七夕	
8月	夏祭り	夏祭り	夏祭り
9月	お月見・彼岸法要・敬老祝賀会	敬老祝賀会	敬老祝賀会
10月	運動会・紅葉狩り	菊花展	運動会
11月	文化祭	紅葉狩り	作品展
12月	クリスマス会・ゆず湯・餅つき	クリスマス会・餅つき	クリスマス会・忘年会
1月	とんど焼き・初釜	新年会	新年会
2月	節分祭	節分祭	たこ焼き
3月	雛祭り・彼岸法要	雛祭り	

5. 健康管理状況

健康管理については、定期健康診断として、胸部レントゲン撮影・インフルエンザの予防接種を実施しました。胸部レントゲン撮影は62名の方に実施し、内3名の方に精密検査を実施しましたが、全員異常ありませんでした。インフルエンザの予防接種につきましては、主治医、家族と相談した結果、77名の利用者と職員全員が予防接種を受けましたが、本年度は施設内での大きな流行もなく過ごせました。

	実施状況（受診者数）		レントゲンの結果	
	胸部レントゲン	インフルエンザ予防	異常なし	異常あり
平成25年度	62名	78名	57名	5名
平成26年度	62名	77名	59名	3名

◇利用者の通院、入院状況

定期健診とは別に、主治医、医療機関との連携のもと、病気の早期発見、早期治療に努め、通院103名、入院者数が延べ55名の結果となり、前年度を若干上回る結果となりました。

	通院	入院
平成25年度	101名	54名
平成26年度	103名	55名

6. 事故発生防止への取組

施設内での事故防止に努める為、月1回の事故防止委員会の開催と年2回の研修、さらに必要に応じて少人数での実践的な研修を実施しましたが、入院・通院を伴う事故の件数は微増となりました。再発防止に向けそれぞれの事例についてしっかり検討を行って、今後もより一層の事故発生の防止に努めてまいります。

7. 身体拘束廃止への取組

身体拘束につきましては、2ヶ月に1回身体拘束廃止検討委員会の開催と年2回の研修を実施し、各専門職の意見を交えながら経過観察記録に基づき再検討を行い、身体拘束廃止に取り組んで参りました。また、突発的に必要な事例が発生したときも、臨時で委員会を開催し、出来る限りの身体拘束解除に向けての取り組みを行い、身体拘束ゼロへ向けて施設全体で取り組んで参りました。

8. 感染症対策実施状況

感染症対策につきましては、4月7月および10月から3月までの各月1回の感染症対策委員会の開催と年2回の研修を実施しました。また、利用者、ご家族及び関係職員等に対して手洗い、マスクの着用、排泄介助時等には個別に使い捨て手袋を使用する等の徹底に努め、大きな流行もなく過ごすことが出来ました。

9. 褥瘡予防への取組

褥瘡予防につきましては、各担当者が褥瘡予防プランを作成・実行し、月1回の褥瘡予防委員会で改善状況について検討し、状況に応じてプランの見直しを担当者に呼び掛けています。また、エアーマットやクッションを褥瘡対策として購入しました。施設利用者の介護度が重度化しており、褥瘡ハイリスク者も増えているので、引き続き褥瘡予防に取り組んで行きます。

	褥瘡の人数	治癒した人数
平成 25 年度	33名	25名
平成 26 年度	32名	27名

10. 機能訓練の取組状況

個別の機能訓練につきましては、機能訓練指導員を中心に、個別機能訓練計画書をもとに、日常生活の中で出来る生活リハビリを中心に、日中はできるだけ起床・離床し、廃用症候群の予防に努めました。

11. 食事、栄養管理

食事・栄養につきましては、衛生管理（記録・確認）に努め、食事が日常の喜びになっていることを十分考慮し、季節感、郷土色を取り入れた家庭的な食事の提供を行なってきました。また、各利用者の栄養状態・健康状態・摂取能力・嗜好等を把握し、食事に対する楽しみを更に増やすため、給食委員会を隔月で開催し、毎日の食事についての検討を重ねてそれらを食事に反映してきました。来年度も引き続きソフト面、ハード面で随時見直しを行い、充実した食事の提供を行って参ります。

12. ご家族との連携

お花見や夏祭りなどの行事を通じて、ご家族への参加を呼びかけ、連携を密にするようにしました。また、利用者の状態の変化があったときなどは速やかにご家族へと連絡をとるなど、日ごろから連携を密にするように努めました。

〔Ⅲ〕施設の運営管理状況

1. 職員状況（正職のみ）

（1）職員数

職員数合計は、前年度48名に対し、45名と3名減少しています。また、男女別職員数では、男性職員21名に対して、女性職員は24名となっています。

（2）平均年齢

平均年齢は、男子職員が33.5歳、女性職員が40.7歳であり、職員全体の平均年齢は37.1歳となっている。

（3）平均勤務年数

平均勤務年数は、男性職員が4.1年、女性職員が4.9年、職員全体で4.5年となっている。

（4）退職者数

退職者数は、男子職員4名、女子職員4名、合計8名となっている。そのうち、介護職員の退職者数は5名となっている。

	性別	職員数	平均年齢	平均勤務年数	退職者数
平成25年度	男	16名	33.6歳	4.6年	7名
	女	32名	42.6歳	5.1年	8名
	計	48名	39.6歳	4.9年	15名
平成26年度	男	21名	33.5歳	4.1年	4名
	女	24名	40.7歳	4.9年	4名
	計	45名	37.1歳	4.5年	8名

2. 研修実施状況

職員研修については、年初に予定していた施設内研修以外に必要なに応じてその時々の課題に対して研修を行い、各部門ごとに個々の職員に応じた施設外研修への参加を促しました。年度内に施設外研修への参加を59件と積極的に行い、職員の資質の向上を図りました。

3. 防災訓練の実施状況

本年度、防災面については、年2回の防火訓練（うち1回は日中想定避難訓練と消火訓練、うち1回の夜間想定避難訓練）を実施しました。今後も訓練の内容充実と経験を深めることで、万が一の場合に備えていきたいと思っております。

4. 苦情、相談受付状況

苦情・相談につきましては、苦情を利用者からの貴重な情報と捉え、素早く対応することにより潜在的な苦情を回避し、サービスの質的向上に繋げていくように取り組みました。

5. ボランティアの受入れ状況

多くのボランティアの方々によって、職員だけでは不十分なレクリエーション・見守り・夏祭りの運営等様々な場面でのご協力を頂くことができました。今後も各方面へとお願いをしていき、様々なボランティアを受け入れていきます。

〔IV〕 地域・ご家族との交流

本年度は夏祭りを屋外にて行い、利用者のご家族、地域の方々へ参加を呼び掛けて行い、多数のご参加を頂き大盛況に終わりました。来年度も引き続き、施設において福祉活動や行事等を行い、積極的に地域の行事、福祉活動への参加をする事等で、地域・ご家族との交流を深めて参ります。

以上